



横浜市立太尾小学校

学校だより

令和2年度5月号

令和2年5月発行

< 豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子 >

学校再開・・・その時まで

校長 館 雅之

新型コロナウイルスに関するニュースが報道される中、今までとは違う毎日を送っていることと思います。今までのように外で遊んだり、学校に来て先生や友達と勉強したりすることが難しく、お子さんはご家庭で我慢をすることも多いでしょう。しかし、ご家庭でのこの取組が感染拡大防止に必ず役立っているのです。もうしばらく学校再開までお家で過ごしてください。

学校は子どもたちの笑い声が聞こえずひっそりとしています。そのような中で、子どもたちが登校することを楽しみに様々な準備をして待っています。再び学校生活が送れるようになるまで、お互い規則正しい生活を送り、今できることを進めていくことが大切だと思います。

学校では、学校再開に向けて、次のような取組を進めてまいります。

1 学びを止めない

- ・ 本日配付いたしました「5月18日からの家庭学習の課題」は、今まで以上に学校再開したときにつながるような内容になっています。教科も増やしています。家庭学習で考えたことを再開後の授業で「共に学ぶ」ことでさらに生きた知識や技能になるように進めていきます。
- ・ 計画表は生活リズムを基盤にした家庭学習ができるように学校生活の時間割のような形式にいたしました。学校再開に向けて生活リズムも大切にしてください。

2 健康第一

- ・ 「健康観察票」は継続してください。また、毎週木曜日のメールによる回答も継続します。体だけでなく心の面についてもご心配なことはどうぞご相談ください。（木曜日のメール回答コメント欄もご活用ください。）

3 つながり大切に

- ・ 学校のホームページでは今まで以上に学校の様子を更新しています。ぜひお子さんとご覧になり掲載内容からお話を広げ、学校再開につなげていただければ幸いです。子どもたちとは会えませんが、学校は心のつながりを大切にしていきます。

本日の課題配付についても様々な方法を考えました。昇降口で配付、靴箱に入れておく方法、登校時刻も細かく設定することなどです。職員で検討する中で、一人でも不安なことがあった場合はその方法は避けました。その結果、教室で担任が待っていてそこで課題を受け取る。教室には子ども一人だけ入る。校舎に入れる人数を制限し、担任以外の職員で整理をしたり、子どもの動きも重ならないようにしたりすることにしました。そこまでしなくてもと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私は「学校ではお子さんの命を預かっているのだ」という考えで、慎重の上に慎重を重ねていきたいと考えています。

今後も様々な課題に直面し、決めていかなくてはいけないこともあると思いますが、この考えを基本に進めてまいりますので、どうぞご理解、ご協力をお願いいたします。

休業期間中のご家庭でのご協力、ご努力に感謝いたします。みんなで乗り切っていきましょう。